



月報 シルバー人材センター

《平成 27 年度定時総会に参加を》

今年度の定時総会は、5月28日(木)午後1時30分から勤労会館ホールで開催されます。議案は下記の通りです。

【報告事項】

平成26年度の補正予算、事業報告
平成27年度の事業計画、収支予算、補正予算

【決議事項】

平成26年度の計算書類及び財産目録、定款の一部改正、特別会員の承認、理事の選任

総会の議事に入る前に10年と20年の永年会員の表彰が行われます。

また、本総会では、定款の改正に伴い正会員の3分の2の出席が必要です。どうしても都合がつかず欠席される方は、必ず委任状を早めに返送ください。

《市民が憩う広田の杜でセンターが一役》

恒例となった広田山荘の春のイベント「カフェ・ド・ヒロタ」が4月9日(木)から11日(土)まで、「シルバー大茶会」が12日(日)に行われました。「カフェ・ド・ヒロタ」は3日間で275人と、予想を上回るお客様が来店。大茶会は神戸女学院茶道部の皆さんのお点前で予定をオーバーする90人の市民の方に楽しんでいただきました。コバノミツバツツジも満開の春、心安らぐひとときを市民に提供できました。イベントを企画・運営された会員の皆様、お疲れさまでした。



平成 27 年度【就業開拓委員会】

新組織体制がスタートしました。当委員会の活動目的は、少しでも多くの就業機会を確保できるようにするために、就業開拓をセンター全体のテーマとして取組み、推進していくことにあります。

今後の就業開拓活動の推進は、地区就業開拓委員による新規事業所開拓 PR 活動だけでは十分ではありません。既存先からのリピート以上の発注を確保する活動が必要です。

これには事務局のサポート・連携が不可欠であり、調整・協議しながら取り組んでいきたいと考えています。

さらには、新体制の組織力の強化に向けた連携の仕組みを活かしての様々な広報媒体による PR 活動、地区地域班活動、就業グループ諸活動を活かしたセンター事業推進が必要であり、会員の皆さんにも地域からの情報収集をお願いし、全員一丸となった活動をします。

委員長 吉田通弘

《中央地区会員が清掃ボランティア》

4月6日(月)、県指定天然記念物のコバノミツバツツジが満開の「広田の杜」で、会員53名が参加して恒例の清掃ボランティア。曇り空ではありましたが、明るい気持ちで取り組みました。清掃後は、広田神社宮司さんによる講話を拝聴。昔の暮らしや甲山周辺の水争いなど、興味深い学びのひとときを過ごしました。(中央地区会員 藤原美人)



《安全委員会からのお知らせ》

■平成26年度事故発生状況(概要)

平成26年度の事故発生件数は10件(うち保険適用事故9件)でした。内訳は、就業中が9件、就業途上が1件ですが、ほとんどが本人の不注意に起因するものです。つまずき、踏み外しなどによる転倒で骨折など思わぬ長期療養となるケースもありました。また、特徴として配布中の事故が4件もありました。

※詳細は別紙の「事故一覧表」をご覧ください。

加齢により本人の自覚以上に反射神経が衰え、若い頃には瞬時にできた身のこなしや、危険を回避する動作が出来にくくなるものです。歩行中の足元にはいつも注意が必要です。

また、自転車の事故も4件発生しています。自転車の事故は、歩行中のつまずきなどよりさらに大事故につながりやすいものです。

センターでは今年度も自転車安全講習会を実施予定です。日常的に自転車を利用する人はぜひ受講をお勧めします。

■自転車の荷物についての注意点

自転車に荷物を積むときは、運転の妨げになったり、不安定になり、危険な場合があります。荷物の積み方には気をつけましょう。

①荷物は前後にバランスよく

●基本的には「ひとりで持てる重量」を目安にして、前後の荷台にバランスよく載せて不安定にならないようにしましょう。ハンドルに荷物を下げることも危険です。

②場合によっては押して歩く

●ハンドルがとられるほど重い荷物を積んだときは、自転車を運転せず押して歩くようにしましょう。

③両立てスタンドを使用

●片立てスタンドは不安定です。安定して直立する両立てスタンドを使用しましょう。

センター無事故継続日数	
就業中	42日
就業途上他	20日

平成27年4月30日現在

《総会時にベルマークをお持ちください》

東日本大震災のベルマークの支援は、本年も実施いたします。現在、センターにお持ちいただいておりますが、総会の受付時にも受取り箱を用意いたします。総会に出席される際は、ベルマークをお忘れなく持参してください。都合で来られない方は出席される地区の仲間に預けてください。ベルマークという地道な活動ですが震災支援を風化させないためにも皆様のご協力をお願いいたします。

(社会参画推進委員会)

毎週金曜日はベルマークの日

ご協力をお願いします



確認

シルバー就業の心得⑥

クレームはお客様の期待の表れです

シルバーの就業の場において、お客様からさまざまなご不満の声や苦情を聞くことがあります。なかにはお客様の誤解だったり、短気な性格によるもの、理不尽な要求もあるかも知れません。しかし、こうしたクレームは、むしろお客様の期待の表れではないでしょうか。そこには私たちが真摯に受け止めるべきご指摘が数多くあります。お申し出いただいたことに感謝し、業務改善や意識改革につなげていきたいものです。

〈クレーム対応のポイント〉

- ①誠意をもって傾聴する…お客様の不満や怒りの声に誠意をもって耳を傾ける姿勢が大切です。口論など論外です。
- ②「不当要求では」との予断は禁物…お客様のお申し出を先入観なく受け止めましょう。初めから「不当要求では」と思うと、それが横柄な態度に出てしまいがちです。
- ③自分ひとりで対応しない…必ず職場の責任者に報告・相談を。お客様へのその場しのぎの対応は問題を大きくします。